

## 第2節 労働相談の取扱状況（平成13年4月からの16年間）

### 1 労働相談件数

労働者個人からの労働相談は、平成28年末までの16年間で2,537件の相談があった。その推移をみると相談件数が最も多かったのは平成18年の280件であり、その後は100件台で推移していたが、平成27年に200件を超え、平成28年には248件と過去2番目に多い件数となった（表9参照）。また、労働相談に関連して個別調整事件の申請も、平成28年は過去最高の10件となった。

なお、労使別件数をみると、使用者からの相談は全体の1割にも満たない状況で、労働者からの相談が圧倒的に多かった。

表9 本県における労働相談件数の推移

（単位：件）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
労働相談の件数	60	146	146	169	191	280	179	140	148	153	119	123	83	119	233	248	2,537
労働者	55	144	140	161	180	278	177	133	143	150	115	115	80	116	222	234	2,443
使用者	5	2	6	8	11	2	2	7	5	3	4	8	3	3	11	14	94

### 2 相談事項別件数

労働者個人からの労働相談を相談事項別にみると、「労働条件等」に関する相談の割合が1,282件（31%）と最も多く、次いで、「賃金等」が1,184件（28%）、「経営又は人事」が899件（22%）、「職場の人間関係」が315件（8%）と続いている。パワハラやいじめ等の「職場の人間関係」に関する相談は、毎年増加傾向にあり、平成28年は前年比の約1.5倍に増えている。（表10参照）。

表10 労働相談の相談事項別件数の推移

（単位：件）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
経営又は人事	42	49	57	67	78	81	67	48	55	44	47	44	35	56	70	59	899
賃金等	22	89	90	93	98	157	78	67	62	72	55	44	23	45	86	103	1,184
労働条件等	23	71	66	85	116	167	76	52	69	71	59	68	39	62	120	138	1,282
職場の人間関係	5	7	13	12	17	20	18	11	19	19	13	17	20	28	39	57	315
その他	5	24	18	15	34	43	46	24	38	33	32	31	10	14	53	46	466
計	97	240	244	272	343	468	285	202	243	239	206	204	127	205	368	403	4,146

※ 相談事項件数は、一人の相談者から複数事項の相談があった場合には、それぞれに集計しているため、相談件数とは合計が一致しない。

※ 集团的労使関係の相談件数は含まれていない。